

各報道機関文教担当記者 殿

2/21 東京・学術総合センターで開催

世界に誇る最先端の研究を紹介

この度、金沢大学では、本学が有する世界に誇る最先端の研究を紹介する「-Features for the Future フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー - 第7回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム」を東京・学術総合センターで開催します。

本学は「社会のための大学」として、基礎研究から実践研究までの卓越した知の創造に努めるとともに、新たな学術分野を開拓し、技術移転や産業の創出等を図ることにより、積極的に社会に還元しています。

今回は、本学が有する国立大学唯一のがん研究に特化した「がん進展制御研究所」で推進される「がん進展研究」の成果を紹介するとともに、国立がん研究センター研究所の中釜斉所長から、最新のがん研究の動向についてご講演いただきます。

については、事前報道及び当日取材について、どうぞよろしく願いいたします。

入場無料

-Features for the Future フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー -

第7回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム

日時 平成27年2月21日（土）13:30～

場所 学術総合センター2階 中会議場（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

テーマ 「がん進展研究の最前線 ～共同利用・共同研究拠点の取り組み～」

※ 詳細は添付チラシまたは下記URLのとおり

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/events/15/02/21/index.html>

本件照会先：金沢大学総務部総務課長 上地
Tel：076-264-5006

担当：金沢大学総務部広報室 寺口
Tel：076-264-5024

Features for the Future

フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー

第7回

金沢大学

未来開拓研究
公開シンポジウム

[テーマ]

がん進展研究の最前線

— 共同利用・共同研究拠点の取り組み —

2015 2.21 (Sat)
13:30~16:10

[会場] 学術総合センター2階 中会議場
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

- 13:30 開会挨拶 金沢大学長 山崎 光悦
- 13:40 [講演] 大島 正伸 (がん進展制御研究所・所長)
「金沢大学がん進展制御研究所-overview-」
- 14:05 [講演] 松本 邦夫 (がん進展制御研究所・教授)
「基礎研究と創薬ベンチャー」
- 14:35 休憩
- 14:50 [講演] 矢野 聖二 (がん進展制御研究所・教授)
「肺がんの予防と最新治療」
- 15:20 [特別講演] 中釜 齊 (国立がん研究センター研究所・所長)
「個々人に適したゲノム医療の実現に向けて」
- 16:00 閉会挨拶 金沢大学理事・副学長 福森 義宏

参加
無料



Features for the Future

フィーチャーズ・フォー・ザ・フューチャー



金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム

日時 **2015年2月21日(土)**

13:30~16:10

場所 **学術総合センター2階 中会議場**
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

[テーマ]

がん進展研究の最前線 —共同利用・共同研究拠点の取り組み—

金沢大学が有する世界に誇る先端研究を紹介する「第7回 金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム」を開催します。

本学は、国立大学唯一のがん研究に特化した「がん進展制御研究所」を有し、「がんの転移と薬剤耐性に関する先導的共同利用・共同研究拠点」として、がんの悪性化に焦点をあてた国際的な共同研究拠点活動を展開しています。

本シンポジウムでは、本研究所で推進される「がん進展研究」の成果を紹介するとともに、国立がん研究センター研究所の中釜斉所長から、最新のがん研究の動向についてご講演頂きます。

講演要旨

金沢大学がん進展制御研究所 -overview-

大島 正伸 がん進展制御研究所・所長

金沢大学がん進展制御研究所は、文部科学省認定による「がんの転移と薬剤耐性に関する先導的共同利用・共同研究拠点」として、がんの中でも死亡率の高い後期がんの発生機構の解明と、その克服を目指した治療法開発に主眼をおいた共同研究を展開しています。特にがん幹細胞、がん微小環境要因に着目した研究推進により、「白血病のがん幹細胞維持機構」や「肺がんの分子標的治療薬耐性機構」、そして「消化器がん発生における慢性炎症の関与」など、がん進展機構の解明に貢献する成果を発信しています。

基礎研究と創薬ベンチャー

松本 邦夫 がん進展制御研究所・教授

400gの肝臓は1ヶ月で1kgに再生します。肝臓を含め組織の再生を支えるタンパク質を医薬品にすべく創薬ベンチャーを起業しました。今年(2014年)、アイスバケツチャレンジが話題となったALSや脊髄損傷を対象に臨床試験が進行中です。一方、組織の再生を支えるタンパク質の働きに歯止めがかからないことが、がんの発症や再発につながることから、このタンパク質の作用を止めることが新たな抗がん剤(分子標的薬)の発見につながります。新たな医薬品の発見を支えるのが基礎研究です。

肺がんの予防と最新治療

矢野 聖二 がん進展制御研究所・教授

肺がんは日本人のがん死亡原因の1位の病気です。肺がんをおこす原因にはたばこがよく知られており、たばこを吸わないことで肺がんにならないことが最も重要です。しかし最近、たばこを吸わないにもかかわらず肺がんになる人が増えています。肺がんになってしまった場合、早期発見して早期に手術で切り取ってしまえば治ります。また、肺がんがおこるメカニズムがいくつかわかってきた結果、非常によく効く薬(分子標的薬)が次々と肺がんに使えるようになってきました。このような肺がんの予防法や治療法をできるだけ分かりやすくお話ししたいと思います。

特別講演

個々人に適したゲノム医療の実現に向けて

中釜 斉 国立がん研究センター研究所・所長

がんは今や国民の二人に一人が一度はかかる病気です。多くの研究成果により、がんに対する様々な治療法が開発されてきました。がん発生の仕組みを詳細に研究することで、早期発見のためのマーカーや効果的な治療薬が開発され、がんの治癒率をさらに改善できることが期待されています。最近のゲノム研究の成果により、一人一人のがんが個性を持っていることも分かってきました。ゲノム研究の成果を治療に応用することで、がんの個性に応じた効果的で副作用の少ない治療法の開発を目指しています。



学術総合センター
〒101-0003
東京都千代田区一ツ橋2-1-2
TEL:03-4212-6000(代表)

- 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線 都営地下鉄新宿線・神保町駅下車 A8出口から徒歩3分
- 東京メトロ東西線・竹橋駅下車 1B出口から徒歩4分

参加申込

参加ご希望の方は、電話・FAX・電子メール・Webにて
ご氏名・ご連絡先をお知らせのうえ、お申込み願います。 ※目的以外の利用及び第三者への提供はいたしません。

- お申し込み・お問い合わせ先
金沢大学総務部総務課総務係 〒920-1192 金沢市角間町
- TEL 076-264-5010
- FAX 076-234-4010
- e-mail ffk@adm.kanazawa-u.ac.jp
- URL http://www.kanazawa-u.ac.jp/